

第9回 OB活用組織全国会議

— 新たなOBの活用をめざして —

OB活用組織全国会議は、各地で活躍している経験豊かな技術者が集う中小企業支援機関が相互連携のために大阪科学技術センター ATAC の呼びかけで2007年に発足した。今回は企業組合 STEP-21のご尽力で琵琶湖畔のホテルで平成27年11月6日に8機関21名の参加を得て開催した。

1. 開会挨拶

ATAC 運営委員長梶原孝生から、「OB活用組織全国会議」は、今までこの会議で各組織が連携することで一定の成果をあげた。今年で9年目となる機会に今後の活動の在り方を本会議の存続も含めてアンケートで忌憚ないご意見を頂戴したい、との話があった。

2. 参加機関の活動状況

①企業組合 STEP-21 (滋賀)

企業支援事業が減り、社員教育や品質管理、実験計画法の教育などのセミナーが多い。

②NPO 法人ノウハウ会 (大阪)

活動指針は社会貢献であるが、常に「社会ニーズにあった活動とは何か」を考えている。コミュニティ活動を重点にしている。

③パワー・マーケティング (大阪)

人材サービス、介護支援サービスを行っている。具体的なニーズはあるが、さまざまニーズに対応できる人材確保が出来ていない。

④NPO 法人プラスチック人材アタッセ(大阪)

プラスチック加工業の経営指導、新商品開発、などの支援を行っている。世の中の技術刷新が速く、会員は常に新しい技術の勉強が必要である。

⑤NPO 法人山口県アクティブシニア協会(山口)

2015年中小企業白書で地域に培われた専門知識技術を持つシニアの力を活用し地域課題解決を図る「人材の地域内循環」の事例として紹介された。

⑥NPO 法人 ATAC・MATE 奈良(奈良)

地域貢献グループを昨年作った。子供への古代技術の紹介を通じて技術への関心を高める活動をしている。若手の新規加入者を募集している。

⑦特定非営利活動法人 ATACひろしま(広島)

活動方針は、「成果主義」「現場主義」「チーム主義」。呉市から「ものづくり技術伝承」支援の要望があった。

⑧大阪科学技術センター ATAC (大阪)

月二回全員参加の研究会を実施し、会員のコンサルティングの進捗状況を聞いて指導を行っている。クライアントとの情報交換の場として、社長懇話会や講演会、ATAC ニュースの発行など行っている。

3. 特別報告「上に立つ者の人間学」

講師 STEP-21 専務理事 井上 昌幸 氏

中小企業の中管理職への人間学の講演会を行っている。論語や、平澤興著「生きよう今日も喜んで」、安岡正篤「人間学」、中江藤樹の言葉などを引用、解説し、「脳力開発」の目的、学び方、具体的活動方法の紹介があった。

4. まとめと交流会

今回の会議では他機関の取り組みで参考になる事例があり、連携の動きもでてきて、有意義であった。会議後の交流会では参加者同士、講師と参加者の間で情報交換が行われた。
(齋藤・長田)



第9回 OB活用全国会議 H271106



会場: ビアザ淡海(大津市)



第9回 OB活用全国会議 H271106